

安城市協働に関する指針を考える 市民会議



第8号

H23年度の検討スタート!

協働に関する議論が本格化

みなさんこんにちは!
安城市市民参加条例が4月1日に施行され、あねととしては今年度から「協働に関する指針」の検討を本格的にスタートさせました。3月まであねとで行っていた議論を引き継ぎ、新メンバーも参加し、来年度3月までに「協働に関する指針」完成を目指して議論を進めています。

今年度初回のあねとは、協働のキックオフとして新メンバー紹介、昨年度までのおさらい等を行いました。そして、からまでの3回は協働に関する指針のテーマとなる「人」「場所」「お金」「情報」の4班に分かれ、分科会で議論を進めました。

また、その間に第6回安城市市民参加条例と協働に関する指針策定審議会、第1回安城市市民参加推進評議会が開催され、安城市の市民参加の推進がスタートしました。これからも、あねとで議論を重ねた市民参加の仕組みについてPRしていきます。



新メンバー加入であねとがより強力に!
では今年度から参加する新メンバーの自己紹介を兼ね簡単なアクティビティを行いました。新メンバーも今までのメンバーと同じく「協働への想い」を持ち、これから楽しみです。



第16回
2011.4.27



発行/協働に関する指針を考える市民会議
事務局/安城市 市民協働課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL: kyodo@city.anjo.lg.jp
HOME: <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

「あねと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。どんどんお寄せください。お待ちしております。



その後、市民協働課から前回あねとまでのふりかえり説明がありました。参加編としては、安城市市民参加条例が3月議会に上程され、4月1日に施行された報告、また協働編としては今年度の指針づくりのベースとなる「中間まとめ」についておさらいの説明を行いました。

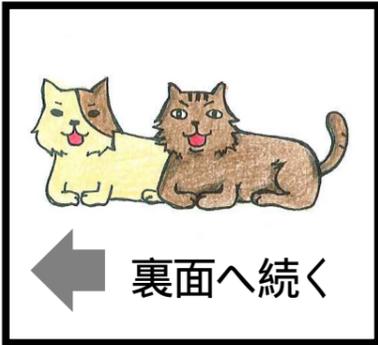
そして今年度の全体スケジュールの説明を行い、ここまでの質疑応答・簡単なトークをし、メンバー全員の情報共有・意識あわせを行いました。

最後に、今年度のチェックイン!スピーチ「希望の木」

あねとは今年度のキックオフから参加して、今回新メンバーの自己紹介を兼ねて簡単なアクティビティを行いました。

今年度のチェックイン!スピーチ「希望の木」

- 「ハート」** 今年度、こんなことで市民会議に貢献したい
- 「りんご」** 協働の指針に期待すること・盛り込みたいこと
- 新たな可能性(事業)の発掘
- 個人でも公でもできない部分を、特に福祉について盛り込みたい
- 盛り込みたいこと~具体案
- 協働コーディネーターの養成と自立!
- 人々が本当に必要としている指針に。
- みんなでチカラを合わせて
- 普通に住むみなさんだっ、日々の暮らしの中で気負わずにがんばっていること、そんな地域のみなさんと共に歩む社協ワーカーの働きや思いも反映されたものになって欲しい
- この会議の様子を町内に伝えていきます。
- 地域の中での活動を「協力」「協働」へと意識から変換する!
- 縁の下の力持ち
- 話し手よりも、良い聞き手になって会を育てていきたい
- 遠足気分での会議が待ちどおしくなる会に
- 高齢者福祉に関わる分野で、持てる知識を提供したい
- これまで学んだ様々な知識や経験を生かすことができれば幸いです
- 霧囲気づくり
- 皆さんが意見を出しやすい環境づくり、自由な雰囲気づくり
- 市民会議やボランティア活動に携わったことのない人達にわかりやすく伝える方法
- 多くの市民に理解してもらいたい。絵に描いた餅にならない様
- 自分の特技を活かす
- 市民として何かのお役にたてられれば、いきな指針となるように!パブリックインボルブメント



裏面へ続く

ひとことアンケート
あねと 社協の働きを知ってほしい/地域の福祉を担っている(地区社協)/エネルギーがラップしているところがある/「お茶をのみながらわいわい語ろう会」は好評だった/どきどきしています。私達にできることもけっこうあるかな/連携プレーができるとよい

審議会では「協働に関する指針」の市民会議中間まとめの発表及び意見出し等が行われ、参加推進評価会議では22年度の実施状況について報告及び23年度の実施予定案について報告及び議論を行いました。

6月13日に「第6回安城市市民参加条例と協働に関する指針策定審議会」及び「第1回安城市市民参加推進評価会議」が行われました。
第6回 審議会 第1回 推進評価会議
2011.6.13

宿題の共有&検討テーマの「タイトル」は？

【ひと】 検討テーマのタイトル:意欲とノウハウのある組織・個人を活用するにはどうしたら良いか。

社協の職員も活用すべし/コーディネーター/活動家の支援/意識の高い同志の連携/協働するためには自立するのが前提/能力のある部署に権限を渡すべし/ノウハウがある組織を活用すべし



【場所】 検討テーマのタイトル:サポータークラブの設置/ソフト面の充実

センター機能充実をめざす/育成するセンターづくり/場所によって月曜日休みをやめて欲しい/相談継続に見守る必要/世代、立場を超える/補助金だとやりたい活動が制限される恐れ。あくまで「自主的」行政に依存しない/主旨、目的に賛同すれば協働/60周年公募事業。コンペを活動センターですれば/神戸市プラットホーム:職員と民間スタッフが協働

【お金】 検討テーマのタイトル:安城らしい「お金」の支援を行う仕組み！

寄付を集める=理解が必要/市民団体に投票する/助成の体験談、年3回の報告の義務がある。赤い羽根募金の義務がある/はじめの1歩=団体に対して助成/行政の基金に対して寄付をすると控除がある/「希望」寄付というのはひも付きみたい/町内会をどう扱うか/町内の枠もとび出すことも重要なのでは/公平性、公益性が大切と審査時に言われた

【情報】 検討テーマのタイトル:ボランティアの枠を超えて楽しめるサイト・口コミ・紙媒体、シンプルズベスト

だれにでもわかる協働の事例集/小学校高学年にも理解できるもの/「こんなまちあったらいいな」という情報の入り口が大切/活動センターが一つの拠点となる/人の手を借りて仲間の力を広げる



第17回

2011.6.17



「人」「場所」「お金」「情報」の分科会で検討開始



初回のテーマは「宿題の共有&検討テーマのタイトルは？」。前回出された宿題の共有と今後検討する内容のテーマとタイトルを決めました。

あんなつとは分科会に分かれ、具体的な仕組みの検討をスタート。まず「手引き」考えるためのヒント集が配布されました。

具体的な施策や仕組みを研究しよう！

【ひと】 素晴らしい人材を行政事業に活用できてない/行政職員に熱意のある人が少ない/市民の意識/協働コーディネーターはどこにいるのか/意識向上のための学習会/小さなことから人とのつながりを持つ/活動を始めようときっかけ作りの声かけ/障害者の方たちをフォローする組織、社協職員の活用/ノウハウを持った人を活用できる制度作り/協働コーディネーターという職の人を設置・任命する/コーディネーターを育成する制度が必要

【場所】 市民活動センター/テーマ型団体/地縁団体/社協/生涯学習/地域拠点/市民活動・社協・地域学習センターの連携、自分の団体に合うセンターを選び活動の促進に、お互いを理解する/センター本部と地域拠点との連携/センターと地縁組織の連携/テーマ型団体と地縁団体の連携

【お金】 財政課題/ハードル低くして金額下げの有り/各課の予算枠というのを別枠で創設しておく/社協とは違う形、しくみの助成にする/助成金は最初に欲しい/団体登録する必要がある/審査方法と報告の方法を考えても良いのでは?/団体審査をする時に市民の意見(投票とか)も入れるとよい



【情報】 キャッチ、人の話/市のホームページ/新聞・市長から/公民館・福祉センター/町内会・子ども会/市の広報誌/公民館チラシ/市民の声が直接届く仕組み 市長から返事があるが、直接市長へ行かない/会議への市民参加。市民 市役所/情報発信者はフィードバックして欲しいという思いがあるはず/市民交流センター/仲人の発想 ほしい情報量はテクニック必要/生活パターンや目的・媒体にあわせて広く持つ



第18回

2011.7.7



「具体的な施策や仕組みを研究しよう！」をテーマに議論。各班で具体的な意見が出され、「場所」班では、「活動の場を生む為に各施設の連携が必要」という意見や「お金」班では「団体育成型」や「事業育成型」について様々な意見が出されました。

あんなつとは分科会2回目。前回に引き続き各班で検討を行いました。

あんなつとは分科会2回目。前回に引き続き各班で検討を行いました。

協議を推進するための具体的しくみを提案しよう！

【ひと】 協働コーディネーター育成ミッション:主体は市/3年計画、目標100人修了 コーディネーターの育成:やっぱり現場を知らないと/人を育てるには時間がかかる/ファシリテーター能力は必須 コーディネーターの素養:役割を明確にする/専門性の高い人の協力を(協賛)

【場所】 名称:眠れる市民をつつき起こせ! 課題:協働可能なNPO法人が不足している。活動に取り組む市民が少ない 仕組み:市民活動・ボランティア活動に参加したくなるようなきっかけの場を提供する/協働事業を行う場を提供する/関係機関の見える化(情報・人・資材等) 市民が比較できるような情報開示/関係機関の連携(登録情報・支援内容・連絡会議の開催など)その他:NPOが少ない...受け入れる組織が少ない

【お金】 名称:あんなつと基金 課題:これからはじめようとしている小さな団体向けの支援がない/支援を受けるときの手続きが大変/個人からの寄付が集まらない/寄付の使われ先が心配/基金の使用目的の明確化/寄付したいと思ってもらうにはどうすればいいか 課題への対応:ハードルが高い メニューを増やす/使い道 目的つき寄付/寄付者のメリット 寄付金控除/つながり 団体の協議会、ネットワーク



【情報】 名称:持続可能な市民活動の中間支援の団体の設立 課題:キャッチボール、交流/活動センターとのコンタクトもできる/活動意欲のある市民/タケノコのように 具体的な仕組み:ハブ的な情報システム/活動・場所が必要/場所には人が必要/人・団体のあり方



第19回

2011.7.27



この回では各班で、具体的な仕組み、参考事例をまとめ、提案シートを作成し、皆の前でプレゼンを行うことを目標としました。しかし、各班まだ十分に議論がつかぬまま、プレゼンは次回に持ち越しとなりました。

あんなつとは分科会の最後で「協働を推進するための具体的な仕組みを提案しよう！」をテーマに検討を行いました。

あんなつとは分科会の最後で「協働を推進するための具体的な仕組みを提案しよう！」をテーマに検討を行いました。

ひとことアンケート

あんなつと それぞれの熱き思いが伝わりとても充実した時間でした/実際に市民活動している人の話を聞くと、不足していることが分かり勉強になる/次回以降のように話が進展していくのが楽しみです/全てのタイトルに対して目標達成できるといいな/こういう意見を聞く「場所」が一番大事なのかも/コーディネーターを育てたい。新メンバーもできる人ばかりで心強い。

あんなつと みんながいきいきと話せてよかった/問題設定について解釈に迷うことがあったが、終盤になって理解し易い雰囲気が出てきた/メンバーの方の考えの深さにひたすら感嘆.../お金について話し合いましたが、やはり大変難しいテーマです。あと一回で提案できる仕組みができるか不安です/財源についてもっと話し合えないと!/コーディネーターの必要性を強く感じました。皆さんのお話を聞いていると、行き着く先が一つだということ、また課題が見えてきた気がします。

あんなつと 今日はラスト数分で「どかん」と進み、改めて素晴らしいメンバーに恵まれたと思いました/今日は残り多い話し合いができた/次回の他の分科会の発表が楽しみです/まとめるって難しいと思いました/市民協働「場所」について提案をまとめていきたい/お金の運営の仕組みの図を作成する/市がこの分野で人づくりに取り組むことは意義があると思う。/私達が提案する目標を達成するには長い年月を必要とするかと思いますが、できることから進めていきたい。